

すぐそこにある  
未来のために。

高知人文社会科学会  
2024年度

公開

シンポジウム

インドネシア人  
技能実習生の  
受入れからみる  
地方の状況

茨城・宮城・高知の事例をもとに

高知城ホール[多目的ホール(4F)]

参加自由 申込不要

主催 / 高知人文社会科学会  
共催 / JSPS科研費(基盤B)「外国人労働者と地域社会包摂:受入・送出双方向からの展望」(代表:岩佐和幸、JP24K03166)  
受託研究(日高村)「地方版多文化共生基盤づくりプロジェクト」(代表:岩佐光広)



2024.11.30<sup>土</sup>

すぐそこにある  
未来のための  
シンポジウム

# インドネシア人 技能実習生の 受入れからみる 地方の状況

茨城・宮城・高知の事例をもとに

2024.11.30<sup>土</sup>

高知城ホール  
多目的ホール(4F)

参加自由 申込不要

司会

岩佐 光広 (高知大学人文社会科学部・教授)

講師

合地 幸子 (東洋大学アジア文化研究所・客員研究員)

西川 慧 (石巻専修大学人間学部人間文化学科・准教授)

コメンテーター

中川 香代 (高知大学・名誉教授)

MON

FUTURE

現在の日本

社会において、諸外国からやってくる  
技能実習生の存在は不可欠なものとなっ  
ていく。高知県も例外ではなく、県内各地のさまざまな事業所  
で技能実習生が働いている。そうしたなかで、技能実習生を受け  
入れる事業所だけでなく、地域社会もまた彼女・彼らをいかに受け入  
れ、共生していくかを考え、実行していくことが求められている。今回のシン  
ポジウムでは、インドネシア人技能実習生に注目し、彼女・彼らが日本の地域  
社会をどのようにみているのか、そして地域社会は彼女・彼らをどう受け入れて  
いるのか、彼女・彼らの存在に目を向けることで日本社会の現状を捉え直し、今後  
の高知県での多文化共生のあり方を考える機会としたい。

そのために、合地幸子さんと西川慧さんを講師としてお招きする。いずれもインド  
ネシアをフィールドとする文化人類学者であり、送り出し国としてのインドネシアに  
とどまらず、アジアの諸地域で働くインドネシア人の研究にも従事している。そう  
した知見と経験を踏まえつつ、合地さんは茨城県において、西川さんは宮城県  
において、日本で働くインドネシア人技能実習生に関する調査を行われて  
いる。今回のシンポジウムでは、茨城と宮城での調査経験をもとにお話  
し頂く予定である。インドネシアの事情に精通する文化人類学者  
による国内の他地域での調査を踏まえた講演と高知の状  
況を含めた議論は、これからの高知の多文化共生  
を展望するうえで、多くの示唆に富む  
ものと考えている。

## プログラム

13:00-13:10 趣旨説明:岩佐光広(高知大学人文社会科学部・教授)

13:10-14:10 講演①:合地幸子(東洋大学アジア文化研究所・客員研究員)

「夢」の移住労働 インドネシア人技能実習生らが捉える茨城県

14:10-15:10 講演②:西川慧(石巻専修大学人間学部人間文化学科・准教授)

石巻と西ジャワ州をつなぐ 沿岸漁業におけるインドネシア人  
技能実習受け入れの経緯

15:10-15:30 休憩

15:30-16:10 コメント:中川香代(高知大学・名誉教授)

技能実習生をめぐる高知県の現状と講演へのコメント

16:10-16:50 リプライと全体討論

16:50-17:00 閉会の挨拶:津野倫明(高知大学・副学長)

## 講師プロフィール

合地幸子 ごうち・さちこ

東洋大学アジア文化研究所・客員研究員  
専門/文化人類学、インドネシア地域研究  
インドネシアの高齢化と若い世代の国  
際移住労働を主軸とした研究に従事。

西川慧 にしかわ・けい

石巻専修大学人間学部人間文化学科・准教授  
専門/文化人類学、東南アジア地域研究  
インドネシアにおけるイスラームと親族・家族に関する研究、  
東アジアにおけるインドネシア人移住労働者の研究に従事。

## お問い合わせ先

高知大学 人文社会科学部  
TEL.088-844-8172

WEB <http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>  
MAIL [kshss@kochi-u.ac.jp](mailto:kshss@kochi-u.ac.jp)

## アクセスマップ

